

～旅のはじまり～

淡路島

AWAJI ISLAND GUIDE BOOK

観光ガイドブック



淡路島周辺MAP



淡路島の観光に関するお問合せは

■淡路SA観光案内所 (淡路サービスエリア下り線内)	〒656-2401 兵庫県淡路市岩屋2568番地	☎ 0799-72-0168
■岩屋観光案内所 (岩屋ポートビル1F)	〒656-2401 兵庫県淡路市岩屋925番地27	☎ 0799-72-3420
■東浦観光案内所 (東浦バスターミナル内)	〒656-2305 兵庫県淡路市浦648番地	☎ 0799-75-2119
■洲本観光案内所 (洲本バスセンター内)	〒656-0027 兵庫県洲本市港2番43号	☎ 0799-22-0742
■南あわじ観光案内所 (なないろ館内)	〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲1528番地4 地先	☎ 0799-52-2336

■淡路市役所 (観光政策課)	〒656-2292 兵庫県淡路市生穂新島8	☎ 0799-64-2542
■洲本市役所 (商工観光課)	〒656-8686 兵庫県洲本市本町3丁目4-10	☎ 0799-22-3321
■南あわじ市役所 (商工観光課)	〒656-0393 兵庫県南あわじ市市湊90-1	☎ 0799-37-3012

■淡路市商工会	〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島5-2	☎ 0799-62-3066
■洲本商工会議所	〒656-0025 兵庫県洲本市本町3-3-25	☎ 0799-22-2571
■南あわじ市商工会	〒656-0474 兵庫県南あわじ市市市299-2	☎ 0799-42-4721

■兵庫県淡路県民局 (公園島企画室)	〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋2-4-5	☎ 0799-22-3541
■(財)淡路島くにうみ協会	〒656-0022 洲本市海岸通1丁目11番1号 洲本ポートターミナルビル3階	☎ 0799-24-2001
■(社)ひょうごツーリズム協会	〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県庁1号館7階	☎ 078-361-7661

発行

■淡路島観光協会	〒656-0022 洲本市海岸通1丁目11番1号 洲本ポートターミナルビル3階 (財)淡路島くにうみ協会内	☎ 0799-25-5820 FAX 0799-25-5821 E-mail: awajishima-kanko@kuniumi.or.jp
----------	--	---

詳しい情報はここからアクセス!

淡路島観光協会

検索

クリック!

URL: <http://www.awaji-navi.jp/> あわじナビ! 淡路島ポータルサイト

目次

◆国生み神話	P 3
◆淡路島の伝統・文化・歴史	P 5
◆温泉・足湯	P 7
◆食の宝庫・淡路島	P 9
◆特産品	P 11
◆花の島・淡路島	P 13
◆淡路島で感動体験	P 15
◆淡路島の祭	P 17
◆淡路島の偉人・各お問合せ	P 19
◆アクセスマップ	P 21

淡路島を巡る旅を通じて、美しい自然・文化、さらに数ある名湯で身も心も癒しながら、淡路島の魅力に触れてみませんか。

食文化にいたっても、淡路島は古墳時代から平安時代にかけて朝廷へ食材を献上していた御食国（みけつくに）と呼ばれ、鯛や鱧、ふぐをはじめとした新鮮な魚介類や、玉葱・レタスなどの豊富な農産物の美味しさを満喫できます。

古事記・日本書紀によれば、淡路島は大八嶋（日本列島）で最初にできた島とされており、この『国生み神話』にまつわる伝承が島の各地に残されている、日本のふるさとです。

約五〇〇年の歴史を持つ淡路人形浄瑠璃や平家伝説など、淡路島には数え切れない歴史が多く残されています。

ここにしかない 歴史の出逢い 旅は淡路島から



『国生み神話』が息づく はじまりの島・淡路島



■伊弉諾尊(右)・伊弉冉尊(左)

国生み神話

奈良時代のはじめに、日本の成立と古代の歴史をまとめたのが古事記(記)と日本書紀(紀)で、はつきりとした歴史になるまでの国家の成り立ちや神々となられた祖先の伝承を「神代」としています。

古事記では天地の始まりから神武天皇の誕生までを上巻とし、日本書紀では巻第一「神代上」巻第二「神代下」として、宇宙の創造から「国生み」「神生み」へとつながり、日本民族が古代国家を造りあげてゆくまでの伝承を記録しています。

明治時代になって日本に西洋の文化を積極的に受け入れようとする文明開化の流れの中で、古事記や日本書紀などに記録される神代の伝承を「神話」と呼ぶようになりました。

「国生み神話」と呼ばれる伝承の舞台は、淡路島なのです。律令制度での淡路国(淡路島)は古代から海人族を祖先とする人びとが活躍し、農業や漁業はもとより「五斗長垣内遺跡」の鉄器加工跡に見られるように工業も盛んでした。記・紀が編纂された一三〇〇年前ごろには「御食国」の筆頭として朝廷に食糧を供給する大切な役目をもっていました。枕詞に「御食向う」と詠まれるほど古代王朝との深い交流関係があったからだと考えられています。

古事記には、イザナギの命とイザナミの命は、天つ神の命により、固まっていけない地上を立派な国土に「修理固成」ため「天沼矛」を賜った。「天浮橋」に立たれ、ドロドロとして漂っている大海原を聖なる矛で「コオロコオロ」とかきなし、矛先からしたたり落ちた滴がつもって「オノゴロ島」になった。二柱の神がその島に降りたち、結婚して夫婦となった。最初に生まれた子が「淡道之穂之狭別嶋(淡路島)」で、次々に島々が誕生し最後に「大倭豊秋津嶋(本州)」が生まれ、「大八嶋」という日本列島が完成した。という伝承が記されています。

伊弉諾神宮



■伊弉諾神宮

伊弉諾大御神が「淡路の多賀」に「幽宮」を構えて余生を過ごされた故地で、神宅の跡が神陵となり、神社として祀られたと伝えられています。

千古の伝統がある一月十五日の粥占祭、春祭のだんじりは全国に知られます。照葉樹林に囲まれた境内には樹齢約九百年の神木「夫婦大楠」(県天然記念物)などもあります。☎0799-805001



■伊弉諾神宮

おのころ島神社



■おのころ島神社

おのころ島神社もその名の通り、古事記に登場する国生み神話の「おのころ島」と言われ、日本発祥、日本の神々誕生の聖地だと伝承されています。伊弉諾、伊弉冉の二神を祀っています。☎0799-425320

沼島

淡路島の南に浮かぶ周囲約十キロメートルの勾玉の形をした小さな島が沼島です。沼島は島全体が「おのころ島」ともいわれ、イザナギ、イザナミの二神を祀る「おのころ神社」もあり、平安、鎌倉室町時代の遺構・遺物が残り、さらには一億年前の地層が発見された歴史深い島です。



■上立神岩

上立神岩

沼島の海岸線の岩礁のなかには、国生み伝説の舞台といわれる奇岩を見ることが出来ます。平バエ(平らな岩場)をはさんで、高さ三十メートルの直立して佇む上立神岩と、下立神岩(現在は崩れて巨大な根っこを残すのみ)は、男女二神を象徴し、平バエは二神の契りの場ともいわれます。

沼島の神秘 鞘方褶曲

一億年前の地球の「シワ」が残る珍しい岩石。平成六年に発見され、引き潮の時にしか姿を現しません。



■鞘方褶曲

絵島



■絵島

淡路島では、始まりの島「おのころ島」と言われる地が数箇所あり、この絵島もその一つです。絵島は、もとは陸地に続いていていたものが波浪の作用で島になりました。



■沼島全景

沼島以外ではフランスで一ヶ所発見されているだけで、地殻内部の動きがわかる世界的にも貴重な資料です。



■鞘方褶曲

日本書紀に創祀の起源を明らかにする最古の神社で、淡路市多賀に鎮座し、伊弉諾尊と伊弉冉尊の夫婦神を祀っています。延喜式神名帳の淡路国十三社のうち大神大の格式で、淡路島神、津名明神、多賀明神などとも称えられました。平安時代からの淡路国一宮で、朝廷から官幣が捧げられました。三代実録では神格一品、明治の制度では官幣大社、昭和二十九年の神宮号宣下で「伊弉諾神宮」と改称されました。地元民たちは初元第一宮の尊意をこめて「いっくさん」と愛称します。



■絵島

淡路島では、始まりの島「おのころ島」と言われる地が数箇所あり、この絵島もその一つです。絵島は、もとは陸地に続いていていたものが波浪の作用で島になりました。



■沼島全景

沼島以外ではフランスで一ヶ所発見されているだけで、地殻内部の動きがわかる世界的にも貴重な資料です。



■鞘方褶曲

淡路島の伝統・文化・歴史

五〇〇年の歴史を持つ、伝統演劇 淡路人形浄瑠璃



淡路人形浄瑠璃の起源は、およそ五〇〇年の歴史を持つ、淡路島が誇る伝統芸能であります。江戸時代には、近松門左衛門の『曾根崎心中』や『国性爺合戦』などの名作が生まれ、当時を代表する芸能文化として隆盛を極めました。実はこの人形浄瑠璃も、国生み神話と深い関わりを持っています。淡路人形の元祖 上村源之丞座に伝わる『道薫坊伝記』によると、この人形芝居は、伊井諸尊・伊井再尊の子である「蛭子神」を慰める為に、西宮戎神社で奉納された人形操りがその始まりであるとされています。

淡路人形浄瑠璃は、江戸時代には阿波藩主の蜂須賀氏の保護もあって大いに繁栄し、東北から九州にかけて全国に広く巡業し四〇以上の人形座もあった時期もありました。しかし、その後次第に減少し、現在、淡路島に残っているのは、吉田傳次郎座の道具類を元に大鳴門橋記念館で常設公演や国内外で公演活動をしている『淡路人形座』と、『淡路人形浄瑠璃資料館』で道具を展示・保存している市村六之丞座だけとなっています。



淡路人形浄瑠璃館 D-8
(大鳴門橋記念館)



淡路人形浄瑠璃資料館 F-8



淡路人形浄瑠璃

源平

ゆかりの地

平清盛、源頼朝、源義経で有名な源平合戦は、日本初の数百年に渡る大規模な内乱です。一般的には以仁王による平氏討伐の挙兵から、壇ノ浦の合戦までが『源平合戦』と言われています。

一ノ谷と屋島の間に位置する淡路島にも、源平ゆかりの地が残ります。まず、おのころ島候補地の一つである絵島(淡路市岩屋)には、清盛の小姓であった松王丸の供養塔が建っています。彼は、大輪田の泊(現在の神戸港)建築の際に龍神の怒りを鎮めるため、自ら進んで人柱になりました。可愛がっていた松王丸を偲び、清盛が絵島に供養塔を建てたと言われています。

絵島から少し南下した、四季折々の花が美しい「あわじ花さじき」には、平家の供養塔が建っています。一ノ谷の合戦で、最後まで海上で戦った平氏の子孫により、大将であった平通盛や一門を供養するため建てられました。舞の名手でもあり義経との悲恋で有名な静御前の隠棲の地とされている場所が、淡路市志筑の「静の里公園」です。静と義経を祀る霊廟などがあります。南あわじ市伊加利には、一ノ谷の合戦で亡くなった平通盛の女房、小宰相局が祀られる「お局塚」が残されています。通盛を追って鳴門の沖で入水した小宰相局の亡骸が丸山の浜に打ち上げられ、従者が近くの多摩山に葬ったのが、このお局塚です。毎年四月十八日には、お局塚供養祭が行われ、今も地元の人々に大切にされています。

南あわじ市沼島にある梶原五輪塔は、平氏から後に源氏の将になった梶原景時の墓とされ、松香石という特殊な石で造られており、鎌倉時代初期の造立とされています。

淡路島の源平ゆかりの地で一番有名なものが、南あわじ市福良湾に浮かぶ煙島です。平氏一門が阿波に渡る前、福良湾で休んでいた折、須磨において熊谷直実に討たれた平敦盛の首がもたらされ、その地で茶毘に付し煙が立ち上ったことから、島の名がついたといわれています。島の頂上には、敦盛の首塚が残されています。(島に入ることは出来ません)



煙島(福良湾) D-9



平 敦盛 (画像提供: 神戸市須磨寺)

『水軍の城』洲本城・三熊山

J-8



洲本城の全景

洲本城のあらまし

三熊山に初めて城を築いたのは、室町末期、紀州熊野水軍の安宅氏で、当時の城は土塁や柵で造られた、石垣の城ではありませんでした。一五八二年に仙石秀久が入り、四国攻めの水軍の城として、石垣の城が築き始められました。一五八五年から秀久に代わって脇坂安治が入り、一六〇九年まで二四年間の在城中、現在に見られるような洲本城が築かれました。豊臣秀吉の時代には、大阪城の出城であり、大阪城を防衛する城として、山麓の居城を東西二条の登り石垣で結び、より強固な城となりました。

洲本城の歴史と、天正・文禄・慶長時代の石垣石積みの変化が見られるなど、古城の高い価値により平成十一年に国の指定史跡となりました。残された石垣には、脇坂安治の城造りや、心の動きを察することができます。



往時の洲本城(復元図)

洲本市立淡路文化史料館 J-8
0799-24-3331

平和と万人幸福を祈る 淡路島お寺巡り

東山寺(淡路市) K-4



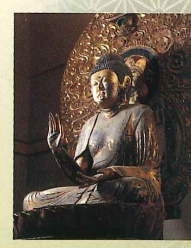
弘仁十年(八一九年)弘法大師により創建されたと言われています。島内では数少ない紅葉の名所として知られ、国の重要文化財の薬師如来立像や十二神将立像があります。
0799-64-1185

常陸寺(淡路市) L-4



高山信仰の聖地として知られ、本尊の十一面千手観音菩薩像は行基の作と伝えられています。周辺のスタジオ・アカガシの群落は県の天然記念物に指定されています。
0799-82-0451

国分寺(南あわじ市) G-8



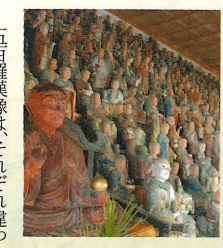
国分寺は、奈良時代に聖武天皇によって国家鎮護のために各国に建立されたお寺です。塔跡・本尊の釈迦如来坐像は国の重要文化財に指定されています。
0799-42-4773

千光寺(洲本市) I-7



「淡路富士」として親しまれる先山の山頂にある千光寺は、淡路西国八十八ヶ所の一番礼所。境内には本堂や三重塔などが立ち並び、梵鐘は国の重要文化財です。
0799-22-0281

蓮花寺(洲本市) J-6



五百羅漢像はそれぞれ違った個性をもった五百体の羅漢像が整然と並んでいます。
0799-28-0113

淡路七福神めぐり参拝方法

淡路島七福神祈願めぐりはどのお寺からでも始められます。必ず最初のお寺で淡路島七福神ハッピー券を発行し、それぞれの寺院で200円の祈願料を納めて御祈願・法話を受けて下さい。参拝記念品として、最後(七つ目)のお寺では吉兆福笹を受けることができます。



淡路島七福神霊場事務局
0799-65-0026

淡路島 七つの福でみんなハッピー 七福神めぐり



良賢・賢明の道を授けるお寺
智神寺【弁財天】
七福神の中で唯一の女性の神様で、もともとはインドの女神です。音楽、弁舌、智慧の神様として信仰されています。
0799-86-1472 E-5

大望成就を授けるお寺
長林寺【福祿寿】
天平3年(737)、行基が七堂伽藍を創設したのが始まります。長寿のシンボルである鶴と亀を従えて左手に如意宝珠、右手に杖を持ちます。
0799-33-0121 G-5

家庭円満・和合を授けるお寺
護国寺【布袋尊】
平安時代の高僧・行教上人により創建。中国唐時代の布袋和尚がモデルの布袋尊は、七福神の中で唯一実在の人物です。
0799-54-0259 E-8

身・心の福を授けるお寺
八淨寺【大黒天】
応永年間(1394~1428)開基と伝わる古刹。大黒天が手にする打出の小槌は弱い心や怠け心を打ち振るためともいわれています。
0799-65-0026 L-5

速喜で長寿を授けるお寺
宝生寺【寿老人】
天平13年(741)に聖武天皇に勅命を受けた行基が開基。この寺の寿老人は右手に宝杖、左手に桃を持っています。
0799-62-2905 U-6

勇気と決断を授けるお寺
覺住寺【毘沙門天】
聖徳太子の勅命により推古天皇のころ(592~628)に創設されたと伝わります。毘沙門天は仏法を信じるものを守護して、勇気と決断力を授けてくれるといわれています。
0799-42-0436 G-8

幸せの釣り方を授けるお寺
万福寺【恵美酒神】
宝龜年間(770~781)に創設の寺で、七福神の中で唯一の日本の神様・恵美酒神をまつります。無病息災、家業繁栄などを授けてくれます。
0799-54-0244 E-9

淡路島の足湯



⑨ 洲本温泉 潮騒の湯 J-8

泉源は洲本城のある三熊山の麓から湧き、神経痛や消化器症に効能がある単純弱ラドン泉。市内散策の途中で足の疲れを癒すことができます。☎ 0799-22-3158



⑩ 足湯・うずのゆ D-9

南あわじ市福良港（うずしおドームなないろ館隣）には、旅の疲れを癒す足湯「うずのゆ」があり、気軽に温泉を満喫することができます。☎ 0799-52-2336

淡路島の効能がたっぷり！ 南あわじ温泉郷

うずしお温泉 南淡温泉 潮崎温泉 三原温泉
サンライズ温泉 筒井温泉



⑤ サンライズ淡路 H-7

サンライズ温泉
なめらかなフッ素イオン泉でお肌ツルツル。公共の宿・体育館なども併設しています。☎ 0799-45-1411



⑦ ゆとりつく うずしお温泉 E-7

温泉とフィットネスが併設。温泉プールやジムで運動後、温泉で汗を流すことで心も体もリフレッシュできます。☎ 0799-36-5789

6つの泉源を有する温泉郷、それぞれ特徴ある温泉をお楽しみください。

4つの日帰り入浴施設の他、南あわじ市内の旅館・ホテル・民宿でそれぞれの温泉に入れます。

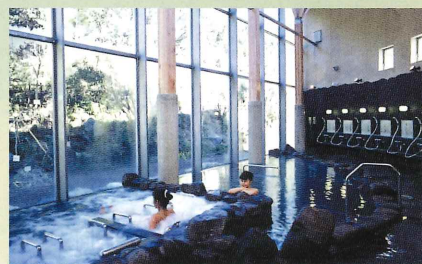
⑥ さんゆ〜館 三原温泉 G-8

広い露天風呂や水着浴ゾーン(7・8月のみ)があり、家族で楽しく健康づくりができます。☎ 0799-43-3939

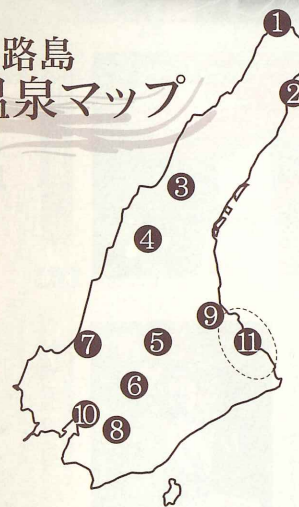


⑧ ゆ〜ぷる 潮崎温泉 筒井温泉 E-9

天然温泉効果と健康・美容・遊びの要素を織り交ぜた多彩なお風呂を満喫できます。☎ 0799-50-5126



淡路島 温泉マップ



④ ウェルネスパーク五色 H-5 五色温泉「ゆ〜ゆ〜ファイブ」

洋・和風・各十種類の浴槽が有り、薬湯・香料風呂を週替わりで楽しめます。☎ 0799-33-1600



② 東浦サンパーク・花の湯 N-4

全身浴、圧注浴、気泡浴、寝湯、歩行浴、水浴、うたせ湯の浴槽とサウナがあります。四季折々の草花を眺めながら楽しめる露天風呂が特色です。☎ 0799-74-5800



③ パルシェ香りの湯 J-4

夕日を眺めながら入浴できる大浴場や、ハーブの湯が楽しめる露天風呂があります。☎ 0799-85-1126

① 美湯 松帆の郷 O-2
世界一の明石海峡大橋を眺めながらの展望露天風呂が人気の温泉リゾート。単純弱ラドンの泉質は、神経痛・冷え性・高血圧症などに効能があります。☎ 0799-73-2333



温泉で、足湯で、
のんびり、湯ったり

⑪ 洲本温泉 J-7~K-8

洲本城の城下町として栄えた淡路島最大の温泉地です。海岸線に沿って10施設が並ぶ温泉街には海を見渡す露天風呂など、趣ある宿が並びます。

☎ 洲本温泉事業協同組合 ☎ 0799-22-3158



「御食国」として知られる豊かな食の宝庫・淡路島



鯛 たい



■鯛の宝楽焼

明石海峡や鳴門海峡の急流にもまれて育った淡路島の鯛は、身が分厚くよくしまつて食べ応えがあります。鯛本来の上品で淡白な味わいをいかす活け造りや、那智黒石を敷き詰めた宝楽鍋で蒸し焼きにした宝楽焼きなどが有名です。



■はも湯引き

はも 豊



五月中旬のはも祭りを皮切りに、鯛の季節が訪れます。鯛は春になると外海から淡路島沿岸に回遊し、夏の産卵に向けて活発に餌を食べ、体に栄養を蓄えます。「梅雨の水を飲んで育つ」と言われる夏の鯛は、身は太り脂がのつてひととき美味しさを増します。その身は淡白で、湯引き、天ぷら、蒲焼とどんな食べ方でも楽しめます。「はもすき」の始まりは沼島の漁師料理といわれ、旬の鯛とたまねぎを使った、淡路島特有の食べ方です。また、秋の鯛は「のぼり鯛」として知られています。



■鯛すき
鯛と淡路島の玉ねぎを一緒に煮込み、あっさり味に仕上がっている鯛すきは、コラーゲンたっぷり。美容と健康にもおすすめの逸品です。

淡路島 3年とらふぐ

淡路島の南端、福良湾。鳴門海峡の激流が生み出すミネラル豊富な天然の漁場で「淡路島3年とらふぐ」は、国内産の稚魚のみを、通常は二年で育てるところを、三年の歳月をかけ、大切に育てる事で、より引き締まった身・肉質量ともにひと味ちがう濃厚な旨味・歯ごたえ・コクと絶品を極めました。

毎年十一月下旬には福良で「3年とらふぐ祭」が開催されます。



■3年とらふぐ・てっさ



■3年とらふぐ・てっちり



■ゴールデン・ポーク

猪と黒豚、デュロック、ゴールデン神出との交配により生まれた、ゴールデン・ポーク(猪豚)は、両者の長所を受けつぎ健康で安全な美味しいお肉で脂身は甘く、まろやかな舌ざわりが特徴です。



■淡路ビーフ

あわじ 淡路ビーフ
日本を代表する松坂牛や神戸牛もそのルーツは「淡路ビーフ」にあります。淡路島では、優れた母牛ばかりを選定し計画的な交配を行うことにより生まれた優秀な資質を保存継承しています。



■びわ



■鳴門オレンジ



■いちじく



■レタス



淡路島 たまねぎ

「淡路島たまねぎ」は平成二十二年十一月に地域団体商標として登録されました。

秋に植えられた、たまねぎは、七ヶ月後の春に収穫。淡路島の温暖な冬の気候のもとじっくり生育し栄養分をしつかりため込んだたまねぎは、適度な柔らかさと甘さが特徴。煮てよし、焼いてよし、生でもよしと三拍子揃った淡路島の味覚を代表する野菜です。

淡路島農業協同組合
0799425200

淡路島の『食』を食べ尽くそう



「島の旨い」を食べ尽くそう 淡路島牛丼

3つの淡路産食材、
淡路牛 淡路たまねぎ 淡路米 を使って作られた、
子供から大人まで多くの方々に好まれるこだわりの牛丼。
URL <http://www.awaji-navi.jp/awagyū/>

あわじしま 味めぐり



淡路島バーガー

とことん淡路島産の素材にこだわった
ご当地バーガー。
バリエーションも豊富です！

島の生しらすプロジェクト 島の生しらす

淡路島岩屋港で水揚げされた鮮度抜群の生しらすを島の料理人達が個性溢れる料理でおもてなし致します。

URL <http://www.awajishima-namashirasu.com/>

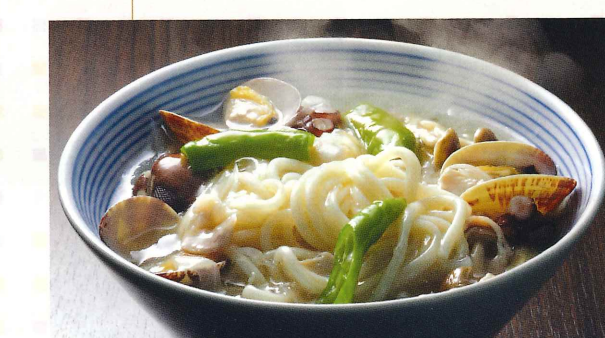
一口食べたら、もうたまらん！ 淡路たまらん焼

淡路のたまねぎと地鶏卵とキャベツを、淡路の米粉で焼いた、お好み焼き風の食べ物です。

土日祝のみ。
道の駅 東浦バスターミナル内物産館前



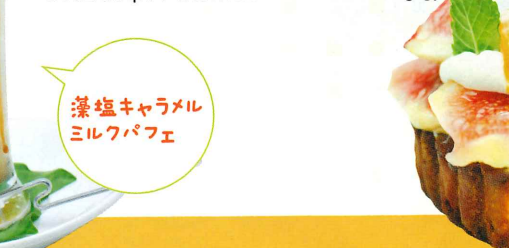
御食国プロジェクト



島を感じる、潮と大地の味。
伝統産業の手延べ麺から生まれたオリジナル麺と淡路たまねぎ、魚介類、淡路牛など島の食材を組み合わせた麺料理。
URL <http://www.miketsukuni-awaji.jp/>

島スイーツ AWAJISHIMA

この島の大自然で育まれてきた新鮮な食材をふんだんに使った淡路島オリジナルスイーツ！
URL <http://www.miketsukuni-awaji.jp/>



いぶし銀が光る、淡路瓦
あわじがわら
淡路いぶし瓦
おにがわら
『鬼瓦』
日本三大瓦の一つである淡路瓦は、幾多の時代と社会の変遷のなか、四〇〇年の歴史を刻んだ伝統工芸的地場産業です。その匠の技術は先人から子々孫々へと受け継がれ、知恵と美意識に磨かれた瓦の形状は、実に数千種類にも及んでいます。



問 淡路瓦工業組合
☎0799-138-0570

日本の香り文化をリードする
淡路島の「お線香」
日本国内生産の七〇%が淡路産で、生産高日本一を誇ります！

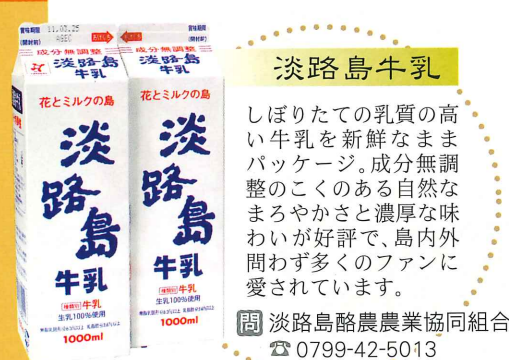


香木が初めて登場するのは日本書紀。推古天皇三年（五九五年）夏四月、沈水淡路島に漂えりと記されています。淡路島にひと抱えもある香木が漂着し、島民がその木を焼くと良い香りが辺りに広がった。その香木は朝廷に献上され、聖徳太子が観音像を作ったとされています。今も淡路島ではその香木（沈香木）をご神体として枯木神社（尾崎）に祀られています。このように香りと大変縁深い淡路島の線香は、天然素材・天然香料にこだわった本物志向、卓越した技術力とアイデアで最高品質の線香を生産し日本の香り文化をリードしています。

問 兵庫県線香協同組合
☎0799-85-1212

特産品

淡路島牛乳
しぼりたての乳質の高い牛乳を新鮮なままパッケージ。成分無調整のこくのある自然なまろやかさと濃厚な味わいが好評で、島内外問わず多くのファンに愛されています。



問 淡路島酪農農業協同組合
☎0799-42-5013

わかめ
淡路島は全国でも有数のわかめ生産地です。鳴門海峡の自然の栄養を受け、育ったわかめには、豊富な栄養成分が含まれています。



焼あなご
その日とれた、活あなごを炭火で香ばしく焼き上げています。



あわぢびーる
あわぢびーるは、熱処理をしていないので生きた酵母の味を味わえる淡路島の地ビールです。1本1本工房から手づくりで出荷しています。また、4種類の味をお楽しみいただけます。



いかなごのくぎ煮
淡路産の釘煮は、最高級とされる「コナ」（いかなごの稚魚）を使用していることで、味共に絶品で、春の名物になっています。



ちりめん
淡路島近海で獲れるシラスは色が白く最高級とされる「カタクチイワシ」を厳選。半生、もしくはよく乾燥させたシラスは「ちりめん」として淡路島を代表する海産物です。



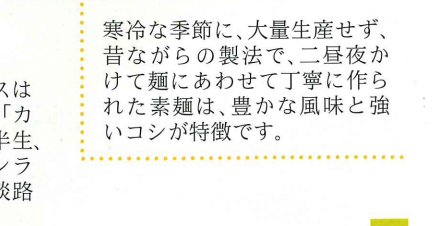
淡路島地酒
昔ながらの手法にこだわり、手間ひま掛けて大切に作られたお酒は、大量生産では決して味わうことのできないこだわりの一杯。また、淡路島の代表的な特産品である「玉ねぎ」から作られた焼酎は、後口にふわりと独特の甘みが広がります。



手延べそうめん
寒冷な季節に、大量生産せず、昔ながらの製法で、二昼夜かけて麺にあわせて丁寧に作られた素麺は、豊かな風味と強いコシが特徴です。



カーネーション
棚田の有効活用から始まったカーネーションの生産は、現在では国内トップクラスの生産量を誇ります。



御食国・淡路島で地産地消

花の島・淡路島

へようこそ。



■ 広田梅林 H-7

島内随一の梅の名所として知られており、天明志士の碑と板垣退助像による碑文があります。
図 ☎ 0799-37-3012 (南あわじ市商工観光課)



■ 東山寺 K-4

淡路市の東山寺、南あわじ市の成相寺は秋の紅葉スポット。お寺巡りの合い間に紅葉をお楽しみいただけます。
図 ☎ 0799-64-1185



■ あわじ花の歳時記園 K-4

5月下旬～7月上旬には、約70種類3500株のあじさいが咲き乱れ園内を彩ります。
図 ☎ 0799-64-0847



■ 淡路ファームパーク イングランドの丘 G-8

イングランドの丘では、秋には公園内にコスモスの花が一面に咲きます。公園内は、珍しい南方系コアラが暮らしているグリーンヒルエリアとイギリスの湖水地方の風景が広がるイングランドエリアに分かれており、手作り体験教室、菜園での収穫体験、小動物のふれあいや季節の花々が楽しめます。自然豊かでのどかな雰囲気を満喫できます。
図 ☎ 0799-43-2626



■ 淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館 O-3

6700㎡を誇る日本最大級の植物館。GWやクリスマスには音楽イベント、ガーデニング教室などが開催されます。
図 ☎ 0799-74-1200



■ あわじ花山水 J-9

淡路島の秘境に今尚残る日本の原風景。水車が回りメダカが泳ぎ、小鳥のさえずりと小川のせせらぎに心が癒されます。
図 ☎ 0799-22-7300



■ 県立淡路景観園芸学校 N-3

調査・研究のための庭園やカフェテリア・ショップは一般の方々に公開しており、四季折々の花々が楽しめます。
図 ☎ 0799-82-3131



■ 灘黒岩水仙郷 G-10 立川水仙郷 J-9

立川水仙郷は、灘海岸の途中にある水仙郷で、300万本もの花園は感動的。灘黒岩水仙郷は、島の南部に位置し論鶴羽山の海に続く急傾斜一帯約7haにわたって咲く500万本もの野生の水仙は壮観です。12月下旬から2月下旬にかけて、淡黄の花と甘い香りによって包まれます。
図 ☎ 灘黒岩水仙郷 ☎ 0799-52-2336 (南あわじ観光案内所) 立川水仙郷 ☎ 0799-27-2653



■ 淡路夢舞台 O-3

花と緑いっぱいの公園に、植物館やホテル、レストラン&ショップ、国際会議場など自然を満喫しながら楽しめます。
図 ☎ 0799-74-1000



■ 論鶴羽ダム公園 G-9

春になるとダムの周遊路は、華麗に咲き誇る桜の花で覆われます。夜桜を楽しめる人気スポットとしてたくさんのお客が訪れます。
図 ☎ 0799-42-5310



■ あわじ花さじき N-3

明石海峡と大阪湾を背景に約15haのお花畑が大パノラマを展開。季節により移り変わる花々の世界に誘います。
図 ☎ 0799-74-6426



■ 道の駅うずしお/鳴門みさき荘 C-9

駐車場から道の駅うずしおの間の藤棚歩道には春ごろに藤の花が一斉に咲き始めます。
図 ☎ 0799-52-1157



■ パルシェ香りの館 J-4

香りをテーマにした遊・食・湯・宿が楽しめる「香りのテーマパーク」。お香、ジェルキャンドル、オリジナル香水など、女の子に人気の体験メニューがいっぱいです。
図 ☎ 0799-85-1162



■ 県立淡路島公園 O-3

播磨灘から大阪湾が一望できる展望広場やアスレチック、水の遊び場など家族連れで遊ぶゾーンも充実しています。
図 ☎ 0799-72-5377



■ 淡路島国営明石海峡公園 O-3

四季を通じて多種多様な花が楽しめる国営公園。特に春のチューリップは関西最大級。多彩な展望スポット、大型複合遊具や、広大な芝生広場などの子どもの遊び場も豊富。
図 ☎ 0799-72-2000

淡路島で感動体験

※予約が必要な体験施設もありますので、お越しの際は、必ず事前にご確認の上、ご参加下さい。

線香・お香づくり

生産日本一である、淡路島の線香やお香をつくる工場の見学ができるほか、お香づくり教室もあります。自分だけのオリジナルお香づくりに挑戦してみましょう。

- (株)薫寿堂 J-4 ☎0799-85-1301
- 淡路梅薫堂(株) F-4 ☎0799-86-0065



酪農

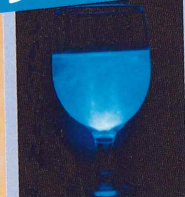
乳搾り体験をはじめとしたさまざまな酪農体験や、つくってすぐ食べられるバターづくりも人気です。淡路島牛乳の試飲コーナーもあり、体験のあとは、淡路牛のバーベキューで大満足。



■淡路島牧場 G-8 ☎0799-42-2066

ウミホタル見学

海ホタルは甲殻類の仲間、4月～9月にかけ幻想的な青い光を海に放ちます。シーズンには、宿泊者限定の観察会も実施されます。
◎淡路島観光協会 洲本観光案内所 ☎0799-22-0742
南あわじ観光案内所 ☎0799-52-2336



釣り



四方を海に囲まれた淡路島は釣りスポットがいっぱい。手軽に釣りを楽しみたい人は海釣り公園や、海上釣り堀がおすすめです。

- 南あわじ市海釣り公園(メガフロート) D-9 ☎0799-55-0400
- 南あわじ市丸山海釣り公園 C-7 ☎0799-39-0399
- 淡路島のひれフィッシングパーク D-9 ☎0799-52-4477
- 由良海上釣り堀 海人 K-9 ☎090-2018-8110

酒蔵見学



■都美人酒造(株) F-8 ☎0799-42-0360

仕込み用の木樽や、社氏の道具などが展示された酒蔵が見学できます。また、酒づくりの期間中には、作業風景が見られたり、きき酒や、甘酒の試飲もできます。

■千年一酒造(株) N-4 ☎0799-74-2005

陶芸



淡路島の特産品である、瓦粘土を使った陶芸をはじめ、いろいろな体験メニューが楽しめます。

- ウェルネスパーク 五色 夢工房 H-5 ☎0799-33-1540
- 淡路市立 陶芸館 N-4 ☎0799-75-2585

素麺づくり



淡路島の特産品である、手延素麺づくりを見学できます。また干しや釜上げの工程の体験もできます。(期間:10月～3月)
■楓勇吉商店 D-8 ☎0799-52-0238



漁業

淡路島の産業文化のひとつである漁業が気軽に体験できます。底引き網や地引き網、刺網漁や定置網漁などができます。※漁業時期・収穫量は天候によって変動しますので、必ず事前にお問合せ下さい。

- 堀(あおり) (地引き網漁) G-5 ☎0799-33-0059
- 飯屋漁業協同組合 (底引き網漁) N-4 ☎0799-74-2057
- 陽恵丸 (底引き網漁) L-5 ☎0799-65-0777
- 杉田 誠 (地引き網漁) C-7 ☎0799-39-0854
- いづみ丸 (定置網漁、底引き網漁、地引き網漁、刺し網漁、魚の開き体験) C-7 ☎0799-39-0147
- 本山水産 (地引き網漁) C-7 ☎0799-39-0253
- 松竹館 (底引き網漁) C-8 ☎0799-39-1118

吹き戻しづくり



昔なつかしの玩具『吹き戻し』の製作体験や、工場見学ができます。

■八幡光雲堂(株) N-4 ☎0799-74-3560

地震・震災



兵庫県南部地震で現れた、野島断層や実際に被災した民家の見学、震災体験館では震度7の揺れを体感でき、自然の脅威を知ることができます。

■北淡震災記念公園 M-3 ☎0799-82-3020

瓦づくり



400年の歴史を持つ淡路瓦の製作現場を見学できたり、瓦粘土を使ってオリジナルの瓦彫刻が作れます。

- 安富白土瓦 F-7 ☎0799-36-2303
- 南あわじ市産業文化センター D-7 ☎0799-38-0201

淡路島を

体験する

大迫力のうずしお!!

大迫力のうずしおを間近で見てみよう!!
鳴門海峡のうずしおは、約6時間毎に起こる潮の干満によって生じる現象です。潮が高い海から低い海へ流れる時うずく激流となり、潮流時速30km、うずの大きさは直径30mに達する事もあります。うずしおが最も大きくなる干潮・満潮の時刻は日によって変化するので、観潮に行く際には、事前に潮見表などで、うずしおの発生する時間帯を確認しておきましょう。



■マリノポート伊弉「ヘリオス」 C-8 伊弉港
伊弉港より不定期出港。クルーズ船に乗るので、世界一の潮流うずしおが間近で見られ、うずしおの大きさ・速さをダイナミックに感じることができます。
☎0799-39-0201

■うずしおクルーズ 威臨丸 D-9 福良港
南あわじ市より毎日定時出港する観潮船は淡路島観光の代表です。うずの大きさも最大時には30mにも達し、轟音を上げて巻くその壮大さは世界の奇観です。
☎0799-52-0054



うずしおを間近で体験しよう!!

開催月	お祭り名	開催日程	開催場所
4月	都志八幡宮春祭り	第1日曜日	洲本市五色町
	福良八幡神社春祭り	第1日曜日	南あわじ市
	諭鶴羽神社春例祭	第2土曜日	南あわじ市
	伊勢の森神社大祭	4月10日前後の日曜日	淡路市
	庄田八幡神社春祭り	第2日曜日	南あわじ市
	賀集八幡神社春祭り	第2日曜日	南あわじ市
	生穂賀茂神社春季例祭	第3日曜日	淡路市
	亀岡八幡神社春祭り	第3日曜日	南あわじ市
	伊弉諾神宮春季例祭	4/20～22毎年同日	淡路市
	鮎河上神社天満宮春祭り	4/29(祝) 毎年同日	洲本市五色町
5月	志筑八幡神社春まつり	4/29(祝) 毎年同日	淡路市
	洲本八幡神社春祭り	4/29(祝) 毎年同日	洲本市
	淡路だんじり祭	4/29(祝)	南あわじ市
	沼島春祭り(沼島八幡神社)	5/4(祝) 毎年同日	南あわじ市
	伊勢久留麻神社春まつり	5/5(祝) 毎年同日	淡路市
	石屋神社春大祭	第2土・日曜日	淡路市
	開運甲子大黒天春季大祭	5/26(木) 毎年同日	淡路市
	淡路市夏祭り	第3日曜日	淡路市
	慶野松原花火大会		南あわじ市
	夏越まつり(由良湊神社)		洲本市
8月	淡路島まつり	毎年8月第1日曜日 花火大会	洲本市
	福良湾海上花火大会		南あわじ市
	高田屋嘉兵衛まつり		洲本市五色町
9月	石屋神社秋祭り	第2日曜日	淡路市
	阿万風流踊り(亀岡八幡神社)		南あわじ市
	水かけまつり(事代主神社)	第3日曜日	淡路市
	室津八幡神社秋祭り	第1土・日曜日	淡路市
10月	松帆神社秋祭り	第1土・日曜日	淡路市
	広石八幡神社秋祭り		洲本市五色町
	鳥飼八幡神社秋祭り		洲本市五色町
	堺八幡神社秋祭り		洲本市五色町
	弁天祭り	11/21～23 毎年同日	洲本市
11月	十日戎(恵比須神社)	1/10	淡路市
	十日戎(事代主神社)	1/10	淡路市
	蛇祭り(安住寺)	1/11 毎年同日	南あわじ市
	大鏡もち運び(葉王寺)	1/12 毎年同日	南あわじ市
	粥占祭(伊弉諾神宮)	1/15 毎年同日	淡路市
	湯立祭り(開鏡観音寺)	第3日曜日	淡路市
	開運大黒天祈願祭・笑福まつり	1/26 毎年同日	淡路市
	厄落し祈願神事(八淨寺)	2/1～7	淡路市
	まめ神事(八淨寺)	2/7 毎年同日	淡路市
	七福神祭り	旧正月の3ヶ日	淡路市
2月	湯立神事(伊弉諾神宮)	立春の日	淡路市
	ねりこ祭り(由良湊神社)	第2日曜日	洲本市
	浜芝居(石屋神社)		淡路市
	炬口八幡神社春祭り		洲本市

※おまつりの概要・日時等の詳しい内容につきましては、各観光案内所へお問い合わせください。

伊勢久留麻神社
春まつり



沼島春祭り



淡路島まつり



蛇祭り

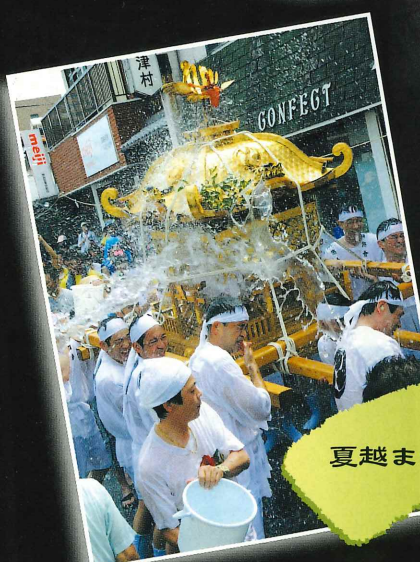
大鏡もち運び



亀岡八幡神社春祭り (南あわじ市・阿万)

亀岡八幡神社春祭りは、南あわじ市を代表する春祭りの一つ。十数台の鮮やかなだんじりが境内に並び、迫力満点のだんじり唄が見物。

伊勢の森神社春季例祭
(はしご獅子)



夏越まつり

鳥飼八幡舟だんじり (洲本市五色町鳥飼)

二台の舟だんじりが神社を出発し、浜までの往復4kmを練り歩き神社に戻ってくる。だんじりが神社の急な石段を上り下りする様子は圧巻です。

淡路島の夏祭

各体験・施設へのお問合せ

市外局番:0799

収穫体験			
施設名	電話番号(市外局番:0799)	収穫内容	
淡路市	開京農園	O-3	☎ 72-3090 収穫【夏】びわ【冬】みかん
	はいばらびわ園	N-3	☎ 82-3051 収穫【夏】びわ
	常盤観光ぶどう園	N-3	☎ 82-2510 収穫【夏】ぶどう
	観光いも掘り園	K-5	☎ 64-1045 収穫【秋】さつまいも
	あわじ花の歳時記園	K-4	☎ 64-0847 収穫【春】山菜取り【秋】栗拾い
	森本農園	M-3	☎ 82-0641(要予約) 収穫【春】しいたけ【秋】しいたけ
	豊農園	J-5	☎ 62-0387(要予約) 収穫【冬】みかん
	アワジファーム	J-6	☎ 62-0808 収穫【冬】みかん
	栗脇農園	N-3	☎ 82-1642 収穫【秋】栗拾い
	パルシェ香りの館	J-4	☎ 85-1162 花摘み【春】カモミール【夏】ラベンダー【秋】コスモス
洲本市	ウェルネスパーク体験農園	H-5	☎ 33-0261 収穫【春】いちご、たまねぎ【夏】じゃがいも【秋】さつまいも【冬】じゃがいも
	平岡農園	I-7	☎ 22-2729 収穫【冬】みかん、レモン
南あわじ市	あわじ花山水	J-9	☎ 22-7300 収穫【春】しいたけ【秋】しいたけ
	淡路ファームパーク イングランドの丘	G-8	☎ 43-2626 収穫【春】トマト、いちご、たまねぎ、じゃがいも等 【夏】なす、ピーマン等 【秋】さつまいも、ピーマン、なす等 【冬】大根、ブロッコリー、カリフラワー、白菜、キャベツ、レタス等 ※年によって変更あり
	淡路島牧場	G-8	☎ 42-2066 収穫【春】たまねぎ【夏】じゃがいも【秋】かぶら、大根

淡路島の偉人・各お問合せ

体験施設			
施設名	電話番号(市外局番:0799)	収穫内容	
淡路市	パルシェ香りの館	J-4	☎ 85-1162 ジェルキャンドル、石鹸、香水作りなど
	あわじ花の歳時記園	K-4	☎ 64-0847 草木染め、絵はがき作りなど
	はいばらびわ園 理舞夢	N-3	☎ 82-3051(要予約) 草木染め
	淡路ワールドパークONOKORO	K-6	☎ 65-1192 しぼり染め、オカリナ作り、陶絵付けなど
	ウェルネスパーク五色 夢工房	H-5	☎ 33-1540 陶芸、紙すき、うどん打ちなど
洲本市	洲本市由良交流センターエトワール生石	K-9	☎ 25-7033 ところてん作り、干物作りなど
	淡路ファームパークイングランドの丘	G-8	☎ 43-2626 パン作り、陶芸体験など
南あわじ市	淡路島牧場	G-8	☎ 42-2066 バター・チーズ作り
	レトロ体験村	K-5	☎ 62-0001(要予約) 昔の生活体験
淡路市	北淡歴史民俗資料館	L-3	☎ 82-2177(要予約) 石臼できな粉作り、羽釜で炊飯
	淡路カントリーガーデン	N-3	☎ 82-2953 動物の餌やり、ロバの散歩
動物と触れ合う	ハーモニーファーム淡路	N-3	☎ 75-3555 乗馬体験
	淡路島モンキーセンター	I-9	☎ 29-0112 野生猿の餌やり
	淡路ファームパークイングランドの丘	G-8	☎ 43-2626 乗馬、小動物とのふれあい
南あわじ市	淡路島牧場	G-8	☎ 42-2066 子牛乳飲み、乳しぼり体験

海水浴場			
施設名	連絡先(市外局番:0799)	施設名	連絡先(市外局番:0799)
岩屋海水浴場	P-3 岩屋観光案内所 ☎ 72-3420	炬口海水浴場	J-7 洲本市農林水産部ふるさと整備課 ☎ 33-1923
浦県民サンビーチ	N-4 東浦観光案内所 ☎ 75-2119	都志海水浴場	G-5 洲本市商工観光課 ☎ 22-3321
多賀の浜海水浴場	I-4 東浦観光案内所 ☎ 75-2119	新五色浜県民サンビーチ	F-6 洲本市商工観光課 ☎ 22-3321
北淡県民サンビーチ	M-3 岩屋観光案内所 ☎ 72-3420	慶野松原海水浴場	F-7 慶野松原キャンプ場 ☎ 36-5959
北淡室津ビーチ	K-3 岩屋観光案内所 ☎ 72-3420	阿万海岸海水浴場	D-10 南あわじ観光案内所 ☎ 52-2336 ☎ 55-2016
尾崎海水浴場	J-4 東浦観光案内所 ☎ 75-2119	伊毘うずしお村海水浴場	C-8 伊毘うずしお村 ☎ 37-9040
江井海水浴場	I-4 東浦観光案内所 ☎ 75-2119	丸山海水浴場	C-7 いづみ丸 ☎ 39-0147
大浜海水浴場	K-8 大浜海水浴場 ☎ 22-8372 洲本観光案内所 ☎ 22-0742	沼島海水浴場	G-10 沼島漁協 ☎ 57-0246

日本音楽史を代表する作曲家
阿久 悠 (1937~2007)
現在の洲本市五色町出身。日本音楽史を代表する作曲家で、数々のヒット曲・名曲を残し、また多くの音楽賞も受賞されました。ウェルネスパーク五色には阿久悠氏を顕彰したモニュメントが建てられています。



■阿久 悠「愛と希望の鐘」 H-5



高田屋 嘉兵衛 (1769~1827)
現在の洲本市五色町志に生まれた喜兵衛は、一介の船乗りからやがて箱館(函館)を商売の拠点とする北方の開拓者として活躍しました。後にロシア使節ロザレフの武力行使による蛮行事件の際には、一人で日本とロシアの国際紛争を解決した江戸時代の豪商です。



■ウェルネスパーク五色 H-5 ■1/2スケールの北前船模型

高田屋顕彰館・歴史文化史料館 (ウェルネスパーク五色内)
☎ 0799-330354

淡路島の偉人

三洋電機設立者として淡路島の活性化に多大な貢献を果たす
井植 歳男 (1902~1969)
現在の淡路市出身。三洋電機株式会社の創業者。のちに「三種の神器の一つとなる洗濯機に着目し、国内シェアのトップへと導きました。」
淡路フェリーボートの就航(一九九八廃止)や本四架橋の実現運動など、島の活性化に多大な貢献を果たしました。



■永田秀次郎(左)とチャップリン(右)

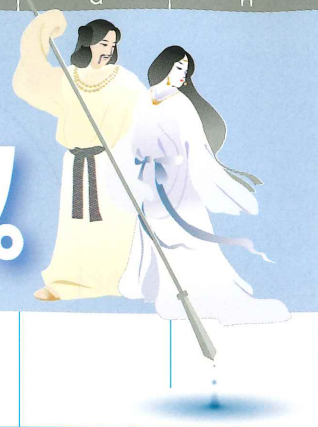
永田 秀次郎 (1876~1943)
ながた ひでじろう
三原郡(現在の南あわじ市)出身。二十六歳で洲本中学校長に就任、三重県知事、拓殖大学長、鉄道大臣などを歴任しました。一九二三年の「関東大震災」時の東京市長で、大混乱であった首都の機能回復と、被災者や震災被害者の善後処理にあたり、適正公正な処置で復興に尽力しました。現在の日本政治の中心地である、千代田区永田町の名前は、永田氏に由来しているとも言われています。
また秀次郎は、喜劇王チャップリンとも親交がありました。大変な釣り好きとしても知られ、東京市長時代には、公務の合間のわずかな時間でも東京湾へ繰り出しキス釣りを楽しんでいたのでした。
俳人としての俳号は永田青嵐といい、寒川鼠骨の手ほどきを受け、のちに高浜虚子に心酔。句は特別枠で随時俳誌「ホトトギス」に掲載されました。



永田青嵐句碑
淡路島には永田青嵐句碑が数多くあります。句碑を巡りながら、歴史に思いを馳せてみませんか。

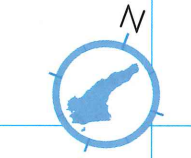
淡路島ブランド・玉葱の普及に貢献
田中 萬米 (1892~1978)
大正一昭和時代の酪農家・実業家。三原郡酪農農業協同組合を組織した、三原酪農の父と言われています。また、タマネギ栽培普及に努め、今日見る淡路島タマネギの繁栄をもたらしました。

淡路島 アクセスマップ



凡例

- 新幹線
- J R
- 高速道路
- 国道
- 一般道
- 航路
- バス停
- 空港
- 道の駅



島外からのアクセス

●お車をご利用の場合		
●本州より	中国自動車道 山陽自動車道 阪神高速道路	垂水JCT → 淡路IC/SA → 淡路島
●四国より	高松自動車道路	鳴門IC → 淡路島南IC/PA → 淡路島
●公共機関をご利用の場合		
高速バス	運行会社	お問合せ番号
JR大阪駅 - 洲本BC	西日本JRバス	06-6371-0121
阪急梅田 - 洲本BC	阪急バス	06-6866-3147
JR新神戸駅 - 洲本BC	西日本JRバス	06-6371-0121
JR新神戸駅 - 陸の港西淡	本四海峡バス	0799-24-0001
三ノ宮 - 福良	淡路交通	0799-22-3121
三ノ宮 - 洲本	淡路交通	0799-22-3121
三ノ宮 - 五色	淡路交通	0799-22-3121
三ノ宮 - 陸の港西淡	みなと観光バス	0799-36-3081
JR新神戸駅 - 東浦BT	西日本JRバス	06-6371-0121
学園都市 - 洲本BC	本四海峡バス	0799-24-0001
高速舞子 - 福良	淡路交通	0799-22-3121
島内路線バス	淡路交通	0799-22-3121

観光地・観光施設

体験施設

温泉施設

ホテル・民宿・旅館

その他の淡路島情報

各お問い合わせは...

■淡路島観光協会 観光案内所 (淡路サービスエリア下り線内)

☎ 0799-72-0168

淡路島に関する総合的なご案内を行っています。

あわじナビ! 淡路島ポータルサイト

URL: <http://www.awaji-navi.jp/>